

報告品目・新キット製品が薬価収載されましたのでお知らせいたします。

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
1	219	内用薬	ビートル顆粒分包装250mg ビートル顆粒分包装500mg	250mg1包 500mg1包	176.10円 258.70円	キッセイ薬品工業	スクロオキシ水酸化鉄	透析中の慢性腎臓病患者における高リン血症の改善	通常、成人には、鉄として1回250mgを開始用量とし、1日3回食直前に経口投与する。以後、症状、血清リン濃度の程度により適宜増減するが、最高用量は1日3000mgとする。	再審査期間中の剤形追加
2	235	内用薬	アミティーザカプセル12μg	1カプセル12μg	61.50円	マイラン E P D	ルビプロストン	慢性便秘症（器質的疾患による便秘を除く）	通常、成人にはルビプロストンとして1回24μgを1日2回、朝食後及び夕食後に経口投与する。なお、症状により適宜減量する。	再審査期間中の規格追加
3	339	内用薬	エフィエントOD錠20mg	20mg1錠	1,128.80円	第一三共	プラスグレル塩酸塩	経皮的冠動脈形成術（PCI）が適用される下記の虚血性心疾患。急性冠症候群（不安定狭心症、非ST上昇心筋梗塞、ST上昇心筋梗塞）、安定狭心症、陳旧性心筋梗塞	通常、成人には、投与開始日にプラスグレルとして20mgを1日1回経口投与し、その後、維持用量として1日1回3.75mgを経口投与する。	再審査期間中の剤形追加
4	396	内用薬	テネリア錠40mg	40mg1錠	231.00円	田辺三菱製薬	テネリグリブチン臭化水素酸塩水和物	2型糖尿病	通常、成人にはテネリグリブチンとして20mgを1日1回経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら40mg1日1回に増量することができる。	再審査期間中の規格追加
5	399	内用薬	ラグノスNF経口ゼリー分包装12g	54.167%12g1包	48.20円	三和化学研究所	ラクツロース	○慢性便秘症（器質的疾患による便秘を除く） ○高アンモニア血症に伴う下記症候の改善 精神神経障害、手指振戦、脳波異常 ○産婦人科術後の排ガス・排便の促進	○慢性便秘症（器質的疾患による便秘を除く） 通常、成人には本剤24g（本剤2包）を1日2回経口投与する。症状により適宜増減するが、1日最高用量は72g（本剤6包）までとする。 ○高アンモニア血症に伴う症候の改善 通常、成人には本剤12～24g（本剤1～2包）を1日3回（1日量として本剤3～6包）経口投与する。年齢、症状により適宜増減する。 ○産婦人科術後の排ガス・排便の促進 通常、成人には本剤12～36g（本剤1～3包）を1日2回（1日量として本剤3～6包）経口投与する。年齢、症状により適宜増減する。	新効能・新用量・規格追加

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
6	625	内用薬	バリキサドライシロップ 5000mg	50mg1mL (懸濁後の内 用液として)	605.70円	田辺三菱製薬	バルガンシ クロピル塩 酸塩	下記におけるサイトメガ ロウイルス感染症 ・ 後天性免疫不全症候群 ・ 臓器移植 (造血幹細胞 移植も含む) ・ 悪性腫瘍 臓器移植 (造血幹細胞移 植を除く) におけるサイ トメガロウイルス感染症 の発症抑制	サイトメガロウイルス感染症の場合 <初期治療> 通常、成人にはバルガンシクロ ピルとして1回900mgを1日2回、食後に経口 投与する。 <維持治療> 通常、成人にはバルガンシクロ ピルとして1回900mgを1日1回、食後に経口 投与する。 臓器移植 (造血幹細胞移植を除く) における サイトメガロウイルス感染症の発症抑制の場合 通常、成人にはバルガンシクロピルとして1 回900mgを1日1回、食後に経口投与する。 通常、小児にはバルガンシクロピルとして 次式により算出した投与量を1日1回、食後に 経口投与する。ただし、1日用量として 900mgを超えないこと。推定糸球体ろ過量が 150より高値の場合は150を用いること。 投与量 (mg) = 7×体表面積 (m ²) ×推定 糸球体ろ過量 (mL/min/1.73m ²)	剤形追加
7	239	注射薬	インフリキシマブBS点滴 静注用100mg「ファイ ザー」	100mg1瓶	50,042円	ファイザー	インフリキ シマブ (遺 伝子組換 え) [イン フリキシマ ブ後続3]	既存治療で効果不十分な 下記疾患 関節リウマチ (関節の 構造的損傷の防止を含 む) 尋常性乾癬、関節症性 乾癬、膿疱性乾癬、乾癬 性紅皮症 次のいずれかの状態を示 すクローン病の治療及び 維持療法 (既存治療で効 果不十分な場合に限り 中等度から重度の活動 期にある患者 外瘻を有する患者 中等症から重症の潰瘍性 大腸炎の治療 (既存治療 で効果不十分な場合に限 る)	<関節リウマチ> 通常、インフリキシマブ (遺伝子組換え) [インフリキシマブ後続3] として、体重1kg 当たり3mgを1回の投与量とし点滴静注する。 初回投与後、2週、6週に投与し、以後8週間の 間隔で投与を行うこと。なお、6週の投与以 後、効果が不十分又は効果が減弱した場合に は、投与量の増量や投与間隔の短縮が可能で ある。これらの投与量の増量や投与間隔の短 縮は段階的に行う。1回の体重1kg当たりの投 与量の上限は、8週間の間隔であれば10mg、 投与間隔を短縮した場合であれば6mgとす る。また、最短の投与間隔は4週間とする。本 剤は、メトトレキサート製剤による治療に併 用して用いること。 <乾癬> 通常、インフリキシマブ (遺伝子組換え) [インフリキシマブ後続3] として、体重1kg 当たり5mgを1回の投与量とし点滴静注する。 初回投与後、2週、6週に投与し、以後8週間の 間隔で投与を行うこと。なお、6週の投与以 後、効果が不十分又は効果が減弱した場合に は、投与量の増量や投与間隔の短縮が可能で ある。これらの投与量の増量や投与間隔の短 縮は患者の状態に応じて段階的に行う。1回の 体重1kg当たりの投与量の上限は、8週間の間 隔であれば10mg、投与間隔を短縮した場合で あれば6mgとする。また、最短の投与間隔は4 週間とする。 <クローン病> 通常、インフリキシマブ (遺伝子組換え) [インフリキシマブ後続3] として、体重1kg 当たり5mgを1回の投与量とし点滴静注す る。初回投与後、2週、6週に投与し、以後8週 間の間隔で投与を行うこと。なお、6週の投与 以後、効果が減弱した場合には、投与量の増 量又は投与間隔の短縮が可能である。投与量 を増量する場合は、体重1kg当たり10mgを1 回の投与量とすることができる。投与間隔を 短縮する場合は、体重1kg当たり5mgを1回 の投与量とし、最短4週間の間隔で投与するこ とができる。 <潰瘍性大腸炎> 通常、インフリキシマブ (遺伝子組換え) [インフリキシマブ後続3] として、体重1kg 当たり5mgを1回の投与量とし点滴静注する。 初回投与後、2週、6週に投与し、以後8週間の 間隔で投与を行うこと。	バイオ後続品

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
8	395	注射薬	アガルシダーゼ ベータ BS点滴静注5mg 「JCR」	5mg1瓶	83,921円	J C R フアーマ	アガルシダーゼ ベータ (遺伝子組換え) [アガルシダーゼ ベータ後続1]	ファブリー病	通常、アガルシダーゼ ベータ (遺伝子組換え) [アガルシダーゼ ベータ後続1] として、1 回体重1kgあたり1mgを隔週、点滴静注する。	バイオ後続品
			アガルシダーゼ ベータ BS点滴静注35mg 「JCR」	35mg1瓶	469,292円					
9	399	注射薬	ケブザラ皮下注150mg オートインジェクター	150mg1.14 mL1キット	44,945円	サノフィ	サリルマブ (遺伝子組換え)	既存治療で効果不十分な 関節リウマチ	通常、成人にはサリルマブ (遺伝子組換え) として1回200mgを2週間隔で皮下投与する。なお、患者の状態により1回150mgに減量すること。	新キット製品
			ケブザラ皮下注200mg オートインジェクター	200mg1.14 mL1キット	59,509円					
10	399	注射薬	シムジア皮下注200mg オートクリックス	200mg1mL1 キット	61,745円	ユーシービー ジャパン	セルトリズ マブ ベゴル (遺伝子組換え)	関節リウマチ (関節の構 造的損傷の防止を含む)	通常、成人にはセルトリズマブベゴル (遺伝子組換え) として、1 回400mgを初回、2週後、4週後に皮下注射し、以後1回200mgを2週間の間隔で皮下注射する。なお、症状安定後には、1 回400mgを4週間の間隔で皮下注射できる。	新キット製品
11	429	注射薬	オブジーボ点滴静注 240mg	240mg24mL 1瓶	410,580円	小野薬品工業	ニボルマブ (遺伝子組換え)	悪性黒色腫 切除不能な進行・再発の 非小細胞肺癌 根治切除不能又は転移性の 腎細胞癌 再発又は難治性の古典的 ホジキンリンパ腫 再発又は遠隔転移を有する 頭頸部癌 がん化学療法後に増悪した 治癒切除不能な進行・再 発の胃癌 がん化学療法後に増悪した 切除不能な進行・再発 の悪性胸膜中皮腫	<ul style="list-style-type: none"> 悪性黒色腫 通常、成人にはニボルマブ (遺伝子組換え) として、1回240mgを2週間間隔で点滴静注する。ただし、悪性黒色腫における術後補助療法の場合は、投与期間は12カ月間までとする。 根治切除不能な悪性黒色腫に対してイピリムマブ (遺伝子組換え) と併用する場合は、通常、成人にはニボルマブ (遺伝子組換え) として、1回80mgを3週間間隔で4回点滴静注する。その後、ニボルマブ (遺伝子組換え) として、1回240mgを2週間間隔で点滴静注する。 根治切除不能又は転移性の腎細胞癌 通常、成人にはニボルマブ (遺伝子組換え) として、1回240mgを2週間間隔で点滴静注する。 化学療法未治療の根治切除不能又は転移性の腎細胞癌に対してイピリムマブ (遺伝子組換え) と併用する場合は、通常、成人にはニボルマブ (遺伝子組換え) として、1回240mgを3週間間隔で4回点滴静注する。その後、ニボルマブ (遺伝子組換え) として、1回240mgを2週間間隔で点滴静注する。 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌、再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫、再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌、がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の胃癌、がん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫 通常、成人にはニボルマブ (遺伝子組換え) として、1回240mgを2週間間隔で点滴静注する。 	再審査期間中の規格追加

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
12	429	注射薬	トラスツズマブBS点滴静注用60mg「第一三共」	60mg1瓶(溶解液付)	13,683円	第一三共	トラスツズマブ(遺伝子組換え) [トラスツズマブ後続2]	HER2過剰発現が確認された乳癌 HER2過剰発現が確認された治癒切除不能な進行・再発の胃癌	HER2過剰発現が確認された乳癌にはA法を使用する。 HER2過剰発現が確認された治癒切除不能な進行・再発の胃癌には他の抗悪性腫瘍剤との併用でB法を使用する。 A法：通常、成人に対して1日1回、トラスツズマブ(遺伝子組換え)[トラスツズマブ後続2]として初回投与時には4mg/kg(体重)を、2回目以降は2mg/kgを90分以上かけて1週間間隔で点滴静注する。 B法：通常、成人に対して1日1回、トラスツズマブ(遺伝子組換え)[トラスツズマブ後続2]として初回投与時には8mg/kg(体重)を、2回目以降は6mg/kgを90分以上かけて3週間間隔で点滴静注する。 なお、初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。	バイオ後続品
			トラスツズマブBS点滴静注用150mg「第一三共」	150mg1瓶(溶解液付)	31,858円					

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
13	634	注射薬	アディノベイト静注用キット1500	1,500国際単位1キット (溶解液付)	155,275円	シャイアー・ジャパン	ルリオクトコグアルファベゴル(遺伝子組換え)	血液凝固第Ⅳ因子欠乏患者における出血傾向の抑制	本剤を添付の溶解液5mLで溶解し、緩徐に静脈内に注射する。なお、10mL/分を超えない速度で注入すること。 通常、1回体重1kg当たり10～30国際単位を投与するが、患者の状態に応じて適宜増減する。 定期的に投与する場合、通常、成人及び12歳以上の小児には、1回体重1kg当たり40～50国際単位を週2回投与するが、患者の状態に応じて1回体重1kg当たり60国際単位に増量できる。 12歳未満の小児には、1回体重1kg当たり40～60国際単位を週2回投与するが、患者の状態に応じて1回体重1kg当たり80国際単位を超えない範囲で増量できる。	再審査期間中の規格追加
			アディノベイト静注用キット3000	3,000国際単位1キット (溶解液付)	286,973円					
14	629	外用薬	オラビ錠口腔用50mg	50mg1錠	1,181.70円	ソーせい	ミコナゾール	カンジダ属による口腔咽頭カンジダ症	通常、成人には1回1錠(ミコナゾールとして50mg)を1日1回、上顎歯肉(犬歯窩)に付着して用いる。	新剤形医薬品
15	821	外用薬	フェントステープ0.5mg	0.5mg1枚	303.80円	久光製薬	フェンタニルクエン酸塩	非オピオイド鎮痛剤及び弱オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記における鎮痛(ただし、他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合に限り、) 中等度から高度の疼痛を伴う各種癌 中等度から高度の慢性疼痛	本剤は、オピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する。 通常、成人に対し胸部、腹部、上腕部、大腿部等に貼付し、1日(約24時間)毎に貼り替えて使用する。 初回貼付用量は本剤貼付前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法・用量を勘案して、0.5mg、1mg、2mg、4mg、6mgのいずれかの用量を選択する。 その後の貼付用量は患者の症状や状態により適宜増減する。	新用量、規格追加

- ・内容についての詳細な情報又は正確な情報は、添付文書等をご参照下さい。
- ・薬価に関する情報は「官報」でもご確認下さい。
- ・承認に関する情報は「医薬品医療機器情報提供ホームページ」の新薬の承認に関する情報もご参照下さい。
- ・医薬品薬価マスターに関する情報は「診療報酬情報提供サービス」をご参照下さい。
- ・医薬品コードに関する情報は「薬価基準収載医薬品コード表(MEDIS-DC提供)」をご参照下さい。